

「魅力的で信頼される国債市場の発展に向けて」のポイント

現状、良好に推移する国債市場

中期的に予想される情勢変化

国債発行額のさらなる増嵩
金利水準の変化(長期金利の上昇の可能性)
格付け低下が金融機関に及ぼす影響等

99年以降の国債市場改革の着実な進展

商品性の多様化、発行方法の改善、税制の整備 等

残された課題と必要な施策

発行・流通市場の機能のさらなる向上

- (1) 長期債・超長期債の市場拡大
- (2) シ団引受制の見直し

保有者の多様化の推進

- (1) 個人保有の促進
- (2) 外国人保有の促進
- (3) 郵貯、簡保、年金資金の運用に係るコンセンサスの形成

国債に対する信認の維持・向上

- (1) ディスクロージャーの推進
- (2) 財政構造改革に係るグランドデザインの策定

金融システムの発展と調和のとれた国債管理政策

- (1) 民間金融商品との均衡確保
- (2) ボンド・コンバージョンの検討 等